

想定を超える外的事象に対する訓練の充実の方向性

原子力エネルギー協議会(ATENA) 宮田

○想定を超えたところにこそ残存リスクあり

- ・自然現象毎にリスクシナリオは異なる

○リアリティのある訓練

- ・予見可能な外的事象に対する前兆対応(津波、火山灰、竜巻など)
- ・被害状況の確認(所外、所内:建屋内外、取水口、アクセスルート)
- ・使用可能リソース(物的、人的)の同定
- ・インフラ系喪失への備え(電源、計装、SPDS、通信)
- ・外的事象による環境・状況変化

一般に

- ・訓練シナリオの柔軟性(訓練想定からの分岐をどれだけ準備するか)
- ・個別訓練との同期
- ・時間スキップ、加速
- ・シナリオ開示の訓練
(基本形の確認、1F事故を超越するシナリオばかりでは実効性が低い)

○訓練の振り返り

- ・想像力の集結(巨大津波の影響でも想像はできたはず)

○福島第一事故等に照らしてみる